



様式第12号(第14条関係)

令和6年 6月 28日

令和5年度持続可能な地域づくり団体支援寄附金実績報告書

鳥取県知事 平井 伸治

住 所 鳥取市岩倉415番地6  
団体名 きりんのまち・愛プロジェクト  
代表者職・氏名 代表 桑田 弥生

令和5年度中に交付を受けた寄附金について、下記のとおり活用して事業を実施しましたので、持続可能な地域づくり団体支援寄附金交付要綱第14条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

1 寄附金受入額 令和5年度合計 24,000円

2 添付書類

- (1) 寄附金活用実績報告書<様式第12号の2>
- (2) 寄附金活用収支決算書<様式第12号の3>

令和5年度寄附金活用実績報告書

|   |   |
|---|---|
| 事業名   | おでかけアシストツアー事業   |
| 実施期間  | 令和4年4月1日～令和6年3月31日  |
| <p>事業内容</p> <p>※対象者の範囲や人数、実施方法等を具体的に記入。</p> | <p>・孤独・孤立を抱えている人や外出困難な人に対して外出機会を促し、個別支援、孤立化防止の推進を行う。2022年6月から9月にかけて鳥取市内で地域課題に対する直接聴き取りによるアンケート調査を実施（600軒）した結果、多世代にわたり孤立化の現状が深刻であることから、令和5年8月より孤独・孤立者に対する民間の相談窓口「まどぐちカフェ」を県内で展開するとともに、関係機関と連携をはかりながら「おでかけアシストツアー事業」を行っている。</p> <p>・「おでかけアシストツアー事業」・・・孤独・孤立を抱える対象者（単身高齢者世帯、不登校児童生徒、ヤングケアラー、鳥取市内への移住者、外国人等）への家庭訪問を行い、近郊のビュースポットへ出向いて飲食をともにしながら「気分転換」を行う活動。ツアーの時間内でお困りごと相談をはじめ、生活上に必要な支援の聴き取りを行い、関係機関と連携して問題解決をはかっていく。事業の延長に「時間通貨」「公民館マルシェ（令和6年3月より実施）」を準備して地域住民との交流を図る機会を創出していく。</p> |
| <p>事業実施の成果・効果（見込み）</p>                      | <p>・令和5年度「おでかけアシストツアー事業」は実施回数40回、61名が参加し、10代から80代までの幅広い年齢層で利用があった。</p> <p>・単身者のみならず、家族内で孤独感を抱えている方の利用があり、「まどぐちカフェ事業」で受けた相談内容が複雑化していることから行政への横断的な対応を依頼するケースが多々あった。</p> <p>・ツアーへのリピート希望が80%であることから、当初期待していた成果があったと思われる。</p> <p>・令和6年3月から開催している「公民館マルシェ事業」にツアー利用者が参加するケースも出てきており、今後の相乗効果が期待できる。</p>  |

年度寄附金活用収支決算書

【収入】

| 区 分   | 金額 (円)   | 内 訳      |
|-------|----------|----------|
| 支援寄附金 | 24,000 円 | (第1回交付分) |
| 自己資金  | 2,000 円  | 自己資金     |
|       |          |          |
|       |          |          |
| 収入 計  | 26,000 円 |          |

【支出】

| 区 分  | 金額 (円)   | 内 訳       |
|------|----------|-----------|
| 消耗品費 | 26,000 円 | スタッフポロシャツ |
|      |          |           |
|      |          |           |
|      |          |           |
|      |          |           |
|      |          |           |
|      |          |           |
|      |          |           |
| 支出 計 | 26,000 円 |           |

※支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費など、経理上の区分名で記載すること。